

新春随想

高速道でドライブを！

新年おめでとうございます。

1、 資産デフレの克服

現在は、資産デフレによる倒産が主流を占めている。従って、資産である不動産と株を流動化させ浮揚させなければならない。そのためには、時限立法で、売買した際に税金をかけないようにする。当面は減税になるが、少し長い目で見れば、経済活性化になる。

馬場総合鑑定所社長

馬 場 勉

2、 高速道路の国有化

道路は重要なインフラである。ガソリン税は目的税で道路財源に使用すべきだ。私は、53円80銭のガソリン税を100円に値上げして、その差額を担保に約40兆円の負債を国が先行して買い上げて無料化すればいいと考えている。休日に高速道でドライブを楽しむ。特に観光産業に経済波及効果が大。運送コストも下がり、物価も安くなる。地方振興と都会の人が人生をエンジョイできて素晴らしい。

芭蕉に現場主義を学ぶ

…「日本には一千年前から旅にまつわる文学が根付いているが、松尾芭蕉の奥の細道こそ白眉」と日本経済団体連合会（東京）の根本二郎名誉会長（74）。岡山県経営者協会総会の記念講演「基本的に戻る」で現場主義を説くのに引き合いに出した。「芭蕉は俳句を芸術の域まで高め、旅という現場で感性を磨いた。企業活動でも毎日毎日変化する現場にこそ真理がある」



…基本に戻るとは「的確に時代と合う認識を持ち、価値や理想を実現するプランの実行とチェックを重ねること」とした上で、雇用の確保、国民生活の質的向上、物価の安定、経常収支の増加への貢献がエクスレントカンパニーとなる条件と強調した。

もう一度、宇宙へ

…「私はもう一度、真っ青な地球を見たいと本気で思っている『こんなきれいな星に生まれてよかった』と実感できますよ」と話すのは、1990年に日本人初の宇宙飛行士として旧ソ連の宇宙船に乗り込み、地球の映像を生中継したジャーナリストの秋山豊寛さん（60）。山陽放送のテレビ番組にレギュラー出演中で地元にも馴染みがあるが、先月末は岡山経済同友会の通常総会に招かれ、「宇宙旅行時代はいつ来るのか」のテーマで講演した。



…1960年代以降の米ソの激しい開発競争の歴史などを紹介しながら、ロケット

トの小さな窓から眺めた自身の体験談を披露。「秒速八キロで打ち上げられた機体は、漆黒の闇を抜け、窓からはコバルトブルーの弧を描いた地球が…銀皿をピカピカに磨き上げたような月が…」と講演調で、ひとしきり場を盛り上げた後「宇宙旅行を商業的に考える機運が世界的に高まっており、うまくいけば十年後、遅くとも二十年以内には何らかの道筋が付くだろう」と聴衆の期待感を膨らませた。

活性化は地元住民の力で



…「表町は人を集める潜在能力を持っている。問題はどっやってその能力を引き出すか」と話すのは、「シティプランナー」としてさまざまな街づくりの提言をしている馬場総合鑑定所の馬場勉氏。岡山市と岡山・西大寺商工会議所が開いた地域経営実践で「岡山の商店街はいかにすれば生き残れるか?」をテーマに講演。三丁目劇場にきた客が買い物をする店をつくる。空き店舗に公衆トイレと駐輪場を設置する。深柢小学校跡など街の中心部に公立病院を誘致する。東西の通りはアーケードをなくして明るく。など独自の活性化案を挙げた。

…「駅前のハヤシバラシティ・プロジェクト浮上で表町は萎縮しているようだが、まだあちらは構想中。表町にないもので岡山に欲しい施設などこちらから積極的に要望を出し、互いに、「住み分け」を図るべき」とし、「これからは行政に頼るのではなく、地元の商店主や住民が発案し、行動しなければ活性化は難しい」と核心をついた。